

2014年11月1日

加古歯科医院

〒478-0053 知多市清水ヶ丘 1-1801

tel(0562)33-4180

fax(0562)33-4188

さらさら

Quality of your life 心も身体も心地よく

<http://www.saradent.com/>



『私の思いやり』 歯科技工士 國仲晃菜

加古歯科医院に勤めて八年目に入りましたが、今月の「さらさら」を担当する機会をいただきました。

今回のテーマは『思いやり』まずはその意味を調べてみました。その結果：『他人の身の上や心情に心を配る』という事。

しかし自分が思いやりだと思っただけでも相手は不快に感じたり、また行動といたっても難しいものです。

私が出来る患者さまへの思いやり『患者さまの不安や考えを親身に受け止め、それをドクターにしっかりと伝えること。』

それをしっかりと踏まえ、患者さまとドクターの架け橋になれたらいいと思います。

患者さまには「やっぱり加古歯科医院に来て良かった」と思っただけなら幸せです。



『思いやりのお返し』 受付 安部奈々恵

「思いやり」みなさんはこの言葉を聞いて何を感じますか？

調べてみると一般的な意味は他人の身の上や心情に心を配ること、想像、推察、思慮、分別・・・とてもたくさん出てきました。

ここから書くことは私が体験し感じた「思いやり」についてです。

私の家族は四人家族。やさしい父に明るく面白い母、しっかり者の姉がいます。

今年の春、母に乳ガンが見つかり、手術は成功しましたが低体重から抗ガン剤がうまくいかず、母にとってもツライ日々：将来の不安からうつ病を併発してしまいました。

家族で介護しながら精神科の入院と外科のある病院の行き来きでした。

今でもこの時期のことを思い出すと涙が出てしまいます。この事はごく一部の人にしか話をしていませんが、私の様子に気づきやさしい言葉をかけてくれた一緒に働くみなさんにはとても感謝しており、本当に恵まれていると思っています。

一番嬉しかったのはある先輩の一言「私はそんな体験した事がないからすべて分かってあげられないけど何かあったらすぐ言ってね」でした。仕事上先輩には関係のない家族の事なのに、受け止め共感しようとしてくれていた姿勢に「思いやり」を感じ、この一言がとても嬉しかったのを覚えていています。

「思いやり」と言うのは簡単ですが、まだ私には一体それって「？」という感じで具体的なことはよく実はわかりません。

ただ、この体験から同じ状況にいる人たちに心から寄り添え、話を聞けるようになったと感じています。

歯科医院の受付として人として今度は「思いやり」のお返しをしていきたいと思っています。



『ホスピタリティ』 保育士 木村香織

「こんにちは。はじめまして。」からの、素直で無邪気なかわい子どもたちとの素敵な出会いを今日まで加古歯科医院でさせて頂いておられます。

子育てでのお口の中まで余裕がもてないお母さま。また、歯医者に行きたいけれど預ける方がいらつしやらないお母さま。そんなお母さま方のお力になれるよう大切なお子さまを優しくお迎え致します。

ホスピタリティ（心からのおもてなし）としまして、お母さまには、静かな音楽やアロマの香りでホッとリラックスをしながら治療を受けて頂き、お母さまと離れて不安になつていらっしゃるお母さまには、安心してその時間を楽しく過ごしてもらえるよう力不足ではありますが、お母さまの代わりに出来るよう思いやりを持って努めさせていただきます。

今まで託児で出会うことのできたお母さまやお子さま。そして、これから出会うお母さまやお子さまとの時間を宝物にしていきたいと思っております。

お母さまとのコミュニケーションもとれば嬉しいのです。いつでもお声をかけてください。